



県土整備部都市整備局

市街地整備課

重田 由麻

平成24年度入庁

土木

Q1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

市街地整備課で、県がつくばエクスプレス沿線で行っている土地区画整理事業の予算の執行管理や、事業計画に係る手続等の仕事に従事しています。

入庁してからこれまで、道路の維持管理業務や河川の改良工事、下水道施設の耐震補強工事等の仕事に携わりました。人々の目に見える構造物の工事から、目には見えないけれど人々の生活を支える事業まで、多岐にわたる仕事ができることが行政の土木職の魅力だと思います。

Q2 千葉県を志望した理由を教えてください。

私は生まれも育ちも千葉県なので、地元で貢献できる仕事がしたいという思いがありました。私が就活をしている時に東日本大震災が起こったこともあり、災害が起こった時等に地元の役に立てればとの思いで千葉県を志望しました。

今年度で入庁して9年目となりますが、様々な事業に携わることができ、大変なこともありますが、千葉県に入庁してよかったと思っています。

Q3 「土木職」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

地域の住民の方々と接する機会が多いため、入庁当初に先輩から教えていただいた「常に地元に住んでいる方々の目線で考えること」を大切にしています。仕事の中では、住民の方々だけでなく国、市町村、警察、インフラ関係の事業者等の関係機関と調整が必要になることも多くあるため、関係各所との調整が滞らないように努めています。

また、様々な角度から積極的に意見を出し、よりよい仕事ができるように心がけています。

Q4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

現在に至るまで、道路維持、河川改良、下水道施設の耐震補強、土地区画整理事業等の業務に携わってきました。

土木職の業務として、今まで経験した業務以外にも道路整備、都市計画、公園事業等もあります。これからも様々な業務に携わり、多岐にわたる業務を経験したからこそ見える目線で、千葉県をよりよくできる仕事をしていきたいです。

Q5 受験生へ一言

計画立案から維持管理までの一連の流れに携われることが行政の土木職のやりがいだと思います。これからの千葉県の未来を一緒に担いましょう。



異動経歴

H24年採用	印旛土木事務所
H27年	印旛沼下水道事務所
H30年	県土整備部都市整備局 市街地整備課

